

臨床研究に関する情報公開

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は通常の診療で得られる試料や情報を利用することによって行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、個別の説明と同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせがありましたら以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、資料や情報がこの研究で用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので以下の「問い合わせ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究課題】 進行・再発乳がん患者における IOP (Integration of Oncology and Palliative Care) を考える

【研究責任者】 乳腺腫瘍科 佐藤雅子

【研究目的】 近年、がん医療において、患者・家族に診断時や抗がん治療期を含めた早期から緩和ケアを提供する必要性が議論されている。進行・再発乳癌患者においても腫瘍学と緩和ケアの統合 (IOP) を推進する必要があるが、その方法については確立されていない。当院では乳腺専門医であり緩和ケア医でもある医師が双方の視点から進行・再発乳癌患者の診療を行っており、IOPを進める方法として選択肢の一つとなり得る可能性がある。臨床的特徴と終末期までの経過、緩和ケアの提供状況につき後方視的に分析し、それぞれの利点と今後の課題につき検討した。

【研究期間】 倫理委員会審査承認後から 2024 年 10 月

【研究対象】 2019 年 3 月から 2023 年 12 月まで、当院乳腺外科で診療した進行・再発乳癌患者のうち、乳腺外科医として診療した 49 名および緩和ケア医として併診した 12 名、計 61 名を対象とした。

【研究に用いる試料や情報】 年齢や病歴、血液検査や画像検査のデータ、カルテの記録

【問い合わせ先】

北海道札幌市豊平区平岸 1 条 6 丁目 3 - 4 0

KKR 札幌医療センター 所属 乳腺腫瘍科 担当 佐藤雅子

電話 011-822-1811 FAX 011-841-4572